プロジェクト研究所

静大独自
自主的な活動で異分野チームを結成！

2025年4月、静岡大学は研究戦略機構を設置し、6月には研究イノベーション創出会議を設置して、基礎研究から応用研究・社会実装まで全学的に研究マネジメントを行う体制を整備しています。そこで注目したいのが、静大が2019年から独自に取り組んでいる「プロジェクト研究所」です。分野や組織が異なる研究者たちがチームを組んで自主的に活動するもので、現在36研究所あり、大学として支援を行い推進しています。

静大研究者
連携して研究したい！

設置申請

研究戦略機構
が審査の上、学長が設置許可

プロジェクト研究所
所長、2名以上の研究者などで構成

- □ 社会的要請の高い分野の研究
- □ 静大の特色を生かした学際的プロジェクト研究
- □ 産学官連携に資する研究等の推進
- □ 自主的な研究活動の強化
- □ 新しい研究分野の発展

発展

附置研究所 / 地域の中核拠点 / 大型研究プロジェクト / ベンチャー企業 / 産学連携拠点

現在36研究所が活動中！

2025年10月1日現在

グリーン社会と海洋研究の推進

- キノコ科学研究所
- 昆虫科学研究所
- 静岡海洋環境研究所
- 静岡みかん研究所
- セルロース循環経済研究所
- ティーサイエンス研究所
- 農知創造研究所

グリーン社会とスマートコミュニティの実現

- イノベーション・スタンダード研究所
- カーボンリサイクル技術研究所
- 機能分子材料研究所
- デジタルソーシャルトラスト研究所
- 浜松次世代パワーメカトロニクス研究所
- 未来の社会インフラデザイン研究所

AI・データサイエンス研究の推進

- ケア情報学研究所
- 科学技術イノベーション教育研究所
- 現代解析学研究所
- 山岳先端情報システム研究所
- 数理・データサイエンス教育研究所
- STEAM教育研究所
- センサー情報処理研究所
- データ駆動型ソリューション研究所
- 土木情報学研究所
- ハイブリッドAIシステム研究所

ソーシャルウェルネスの実現

- エコフェミニズム研究所
- 聞き書き・語りの森研究所
- 子どもレジリエンス研究所
- コンピテンス基盤型教育研究所
- ジェンダー研究所
- ジオ福連携研究所
- 人口動態と就労環境研究所
- 超高齢社会課題研究所
- デジタル社会における法的対応研究所
- 登呂農耕文化研究所
- 発酵とサステナブルな地域社会研究所
- ピアノとウェルビーイング研究所
- みぢかな木の家具・モノコトづくり研究所

個性あるプロジェクト研究所の活動を紹介する新連載がスタート！
13ページをご覧ください

事例紹介
発酵とサステナブルな地域社会研究所
「異分野で連携して成果を広げています」

お酒や発酵食品という身近な研究対象について、総合大学だからこそ多分野の研究者の力を結集することができました。研究者の確かな知見に対する期待が、産学官連携につながりました。

発酵食品は地域文化の形成につながっている

静岡といえば…家康公！

所長 人文社会科学部 大原志麻教授（専門分野：比較文化）

酵母の専門家と家康公ゆかりの地で酵母を採取

理学部 丑丸敬史教授　農学部 木村洋子教授

クラフトビールを観光資源に

自治体　商工会議所

家康と静岡のつながりをPRし、地域ブランドにつなげたい

副所長 人文社会科学部 横濱竜也教授

家康公ビール完成！
市内の醸造所が協力して商品化

第3弾まですぐに完売！新たな地域ブランドに

2025年4月からは、同じくプロジェクト研究所の一つである「登呂農耕文化研究所」と登呂遺跡で「古代稲作」栽培の赤米によるお酒造りに挑戦しています。

「プロジェクト研究所長」を育成するプログラムがあります

第一三共株式会社「はばたく次世代」応援寄付プログラムに採択され、「次世代研究者のためのプロジェクト研究所長育成プログラム」を2023年度から開始しています。異分野交流会、研究費配分、シンポジウム開催、事務・URAのサポートなどにより、独創的なアイデアを持った若手研究者を発掘する仕組みを整えています。

「はばたく次世代」応援寄付プログラム

所長になった若手研究者に聞きました

2024年度の同プログラムで選出され、2025年にプロジェクト研究所を設立した「ハイブリッドAIシステム研究所」所長の
工学部 村上 裕哉 講師

理論モデルと機械学習に両立したハイブリッド型AIを化学工学の世界へ取り入れ、高精度＋データ非依存な解析手法の実用化を目指しています。研究所設立が、異分野間交流や自身の研究分野の拡張、更には学内外へのPRにも繋がり、当プログラムの取り組みに心から感謝しています。

若手研究者の異分野交流会を開催

総合大学ならではの特徴を生かし、分野の異なる学内研究者同士の交流機会を創出し、ネットワーク構築を推進しています。

23人がショートトークで連携を呼びかけ

研究戦略機構長の金原和秀理事が挨拶

ポスター発表

研究紹介ショートトークで気になったポスターに付箋でコメントを記入。ポスター発表時に、先輩研究者など多くの参加者と直接話し合い、新たな連携につながるきっかけとなっています。

コメント・質問のフセンがいっぱい